



いわて

議会だより

2010.12

18

Contents

- 2 第3回市議会定例会、一般質問
- 13 委員会報告
- 16 12月議会の本会議開催予定日 フォトギャラリー

発行：岩出市議会
〒649-6292 岩出市西野209
編集：議会広報常任委員会
TEL 0736-61-6947
E-mail gikai@city.iwade.lg.jp

平成22年第3回定例会

案 件 名	結 果	賛否 ○…賛成 ×…反対 –…賛否に加わっていない																
		公明党 議員団		日本共産 党議員団		岩出クラブ		民主いわで			ネット岩出					尾和 弘一		
		田 畑 昭二	玉 田 隆 紀	宮 本 要 代	市 来 利 恵	増 田 浩二	上 野 耕 志	福 山 晴 美	田 村 耕 一	山 本 重 信	土 岐 健 二	松 下 元	三 栖 慎 太 郎	田 中 宏 幸	井 神 慶 久		吉 本 勸 曜	山 下 久 美 子
岩出市国民健康保険税条例の一部改正	承 認	○	○	○	○	○	（議 長 の た め 、 賛 否 に 加 わ る こ と が 出 来 な い 。）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成２１年度岩出市一般会計歳入歳出決算認定	継続審査																	
平成２１年度岩出市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	継続審査																	
平成２１年度岩出市老人保健特別会計歳入歳出決算認定	継続審査																	
平成２１年度岩出市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	継続審査																	
平成２１年度岩出市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	継続審査																	
平成２１年度岩出市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	継続審査																	
平成２１年度岩出市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定	継続審査																	
平成２１年度岩出市水道事業会計収入支出決算認定	継続審査																	
岩出市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成２２年度岩出市一般会計補正予算（第２号）	可 決	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成２２年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	可 決	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成２２年度岩出市老人保健特別会計補正予算（第１号）	可 決	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成２２年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第２号）	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市道路線の認定	認 定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岩出市役所土木課の土地収用に関する請願書	不採択	×	×	×	○	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
人権擁護委員候補者の推薦	適 任	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

（議長のため、賛否に加わることが出来ない。）

一 般 質 問

田 畑 昭 二 議員 3頁

- ◎農地法3条申請について
- ◎国道24号線の植木の管理について
- ◎風吹トンネルの安全対策について
- ◎集中豪雨対策として、水路改修のスケジュールについて

宮 本 要 代 議員 5頁

- ◎民生委員・児童委員について
- ◎訪問理美容サービス事業について
- ◎公共施設のバリアフリーについて
- ◎子宮頸がん予防ワクチン接種について

玉 田 隆 紀 議員 7頁

- ◎幼い命の未来を守る政策について
- ◎児童・生徒の熱中症対策について

山 本 重 信 議員 9頁

- ◎入札制度改革について

市 来 利 恵 議員 11頁

- ◎子ども医療費、通院についても小学校の卒業までの拡大を
- ◎福祉タクシーについて
- ◎入札制度について

※質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
※内容等については質問者にお問い合わせください。

福 山 晴 美 議員 4頁

- ◎浸水対策について
- ◎防災について

田 中 宏 幸 議員 6頁

- ◎さざのせ公園の防犯対策について
- ◎緊急時・災害時の近隣の協力について
- ◎農免道路の歩道及び右折帯設置について

土 岐 健 二 議員 8頁

- ◎京奈和自動車道と市内渋滞対策について
- ◎職員健康診断について

増 田 浩 二 議員 10頁

- ◎採石業者の倒産と根来川の安全性について
- ◎市民の健康増進へ健康教室の普及と推進を
- ◎小・中学校の教育環境改善へ冷暖房設置を

尾 和 弘 一 議員 12頁

- ◎入札妨害及び賄賂事件について
- ◎公共施設について
- ◎市道金屋上中島線について
- ◎河川の陥没について
- ◎児童の医療費支援について
- ◎固定資産税等について



田畑 昭二 議員
(公明党議員団)

国道24号線の植木の管理について

国道24号線の植木の管理について

質 問

・国道24号線の道路分離帯及び歩道部分の樹木に雑草が繁茂し、交通安全面や環境美化的にもイメージが悪く、市は国道管理者に抗議や要望は行っているのか。

答 弁

国土交通省和歌山河川国道事務所に問い合せをしたところ、平成22年度より直轄国道の維持管理について、全国統一基準の設定運用により、維持管理費を縮減するため、除草はこれまで年2回程度実施していたが、今年度から年1回以内とし、植木管理については、道路利用者の安全性を第一に必要な剪定、除草を実施しているとの回答であった。今後とも市としては、通行の安全を第一に定期的な植木の維持管理を要望していく。



国道24号線の繁茂した雑草

新風吹トンネルの安全対策について

質 問

・トンネル出口付近で重大事故が頻繁に起つており、その時、全面通行止めとなり、長時間トンネル内で待つ状態となり、その際、排気ガスが充填し、体調を崩す場合があり、その対策はとれないか。

答 弁

県に問い合せたところ、排気システムについては、道路トンネル基準により、自

農地法3条申請について

質 問

・農地法3条申請により所有権移転した農地が耕作放棄され、雑草が繁茂し、周辺住民に多大な迷惑をかけ、農業委員会からの再三の勧告に従わない場合、罰則適用にならないのか。

答 弁

農業委員会では毎年、農地パトロールを実施し、適宜利用状況の現地調査を行い、不適当な利用状況が判明した場合、耕作者に利用

然換気対応となっている。トンネル内情報は、上下線とも入り口付近に電光表示板を設置しており、周辺地域にも情報提供の表示板を設置している。今後、市としては、県や警察等の関係機関に、一旦降りていただくとかの誘導方法がないかとの要望も行っていく。



新風吹トンネル出口付近

※他に集中豪雨対策としての水路改修のスケジュールと、現在の水路改修の進捗状況と、住民に対する情報提供についても質問しました。

の適正化について指導を行っている。
また、農地法第64条は、許可の取得のため虚偽申請による許可の取得、無断転用にかかわる届け出に関する違反のことであり、御指摘の事例については農地法の罰則に適用されないと考えます。

●浸水対策

抜本的解決には、住吉川の河川改修が必要不可欠

●防 災



福山 晴美 議員
(岩出クラブ)

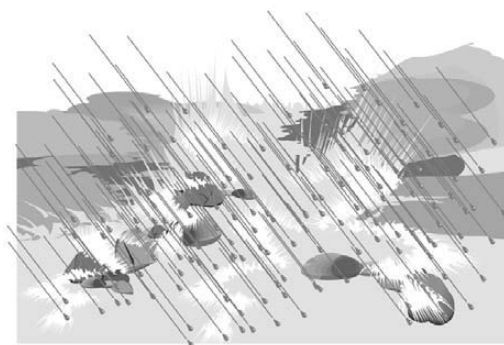
質問

”ゲリラ豪雨により被害を受け、大雨のたび不安になる。”

- ①排水計画において調査検討した内容と今後の方針について。
 - ②吉田地区の浸水対策は。また、年次計画はあるのか。
 - ③吉田にあるフロント川の堰について。
 - ④大雨時の吉田地区の避難経路は。
 - ⑤浸水時の市の対応や支援について。
- 浸水地域は市内に何箇所あるか。

答弁

”住吉川の河川改修を市からは、県に幾度も要望している。”



- ①局所的に用水路の幅が狭くなっている箇所を把握した。今後は河川管理者と協議を行い、早期完成を図っていくよう進める。
 - ②抜本的な対策には住吉川の改修が必要不可欠である。下流側の流下能力が確保されている箇所は流下能力、断面不足箇所の解消を進める。
 - ③来年度に改修する予定。
 - ④水害時避難経路を確保するのは、非常に難しい。
- 年次計画は、現在策定できていない。

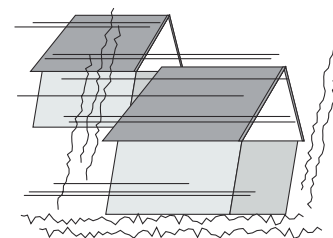
質問

- い状況と認識している。皆様方で話し合っていただき、市と一緒に検討していきたい。
- ⑤市職員、消防団、警察等の関係機関と連携して対応する。
- 支援については、被害に応じて一定の補助を行っている。
- 大きく市内で5地区把握している。吉田・西野・中迫・高瀬・岡田。

”近年特に注目されている地震予測の中で、30年以内発生確率60%〜70%の東南海地震、50%〜60%の南海地震や他の災害に備えるためには。”

- ①各家庭向けの防災マニュアルは。
- ②各家庭に非常用防災グッズを常備するための取り組みは。
- ③防災訓練について。

答弁



- ①各家庭向けの防災マニュアルは平成18年に全戸配布しているが、改訂版の作成を来年度計画している。
- ②災害発生から応援が来るまでの初動3日間対応できるよう、各家庭で防災グッズを常備することが望ましいので、機会あるごとに普及啓発に努めていく。
- ③防災総合訓練の当日、アンケートを実施しており実行委員会の反省会で集計結果の検討や、実行委員会の意見を参考にして次回に生かしていく。



宮本 要代 議員
(公明党議員団)

高齡化社会にむけて 子宮頸がん予防ワクチン接種に 公費助成を

民生委員・児童委員
について

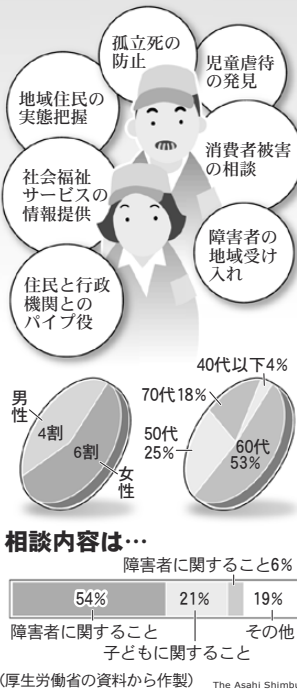
質問

- (1) 岩出市と民生委員・児童委員との連携や個人情報提供について。
- (2) 民生委員・児童委員に対する岩出市の支援体制について。
- (3) 12月改選の民生委員・児童委員の現状と取り組みについて。

答弁

- (1) 連絡の窓口は福祉課。
- 児童福祉は保育士、教師と連携を密にし、保健師や家庭相談員と連携して家庭訪問を行う。
- 高齢者福祉は地域包括支援センターと連携。

民生委員ってどんな人？



福祉サービスは福祉事務所と連携。

個人情報提供は福祉課から個別に、担当区域の民生委員・児童委員に。

(2) 緊急時には基本的に市など関係機関が対応。

相談は福祉課に。

民生委員・児童委員が一人で抱え込むことがないよう、役割を周知。

(3) 12月1日より、86人から90人体制でスタート。

基本的に現委員を再任。

新たな人選には、いろいろな方面から候補者の選定を行い、承諾が得られれば、民生委員推薦委員会の承認を経て、県へ推薦。

質問

民生委員・児童委員が知った情報の守秘義務は徹底されているのか。

答弁

- 新任研修、各種研修会など機会あることに指導。
- 個人情報取り扱いには、一層慎重を期し、徹底的に管理するよう指導していく。

他にも、高齡化社会にむけて次の質問をしました。

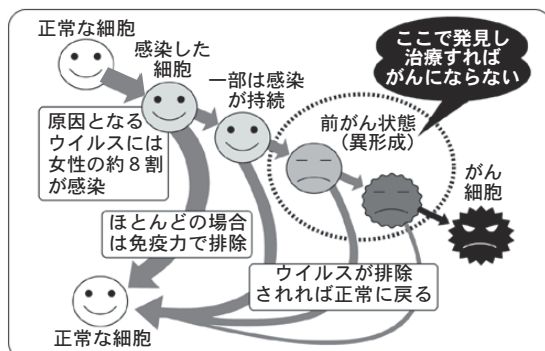
- 岩出市の訪問理美容サービスについて。
- 公共施設のバリアフリーについて。

質問

子宮頸がんの予防ワクチン接種に公費助成を

子宮頸がんの予防ワクチン接種に公費助成の実施にむけ、市長の政治判断は。

子宮頸がんになるまでの仕組み



市長答弁

- 市は、全県市町村会議で、県の助成を要望。
- 県は、国の制度が整えば接種者の費用負担軽減のあり方を検討。
- 国県の動向にもよるが市単独での実施の可能性を含め、平成23年度予算編成の中で、前向きに検討をする。

さぎのせ公園の防犯対策について 緊急時・災害時の近隣の協力について 農免道路の歩道及び右折帯設置について



田中 宏幸 議員
(ネット岩出)

質問

公園に関する防犯のための取り組みとしては、たくさんの方々が公園を利用していただければ人の目が確保でき、犯罪が発生しにくくなるのではないかと考えています。

また、防犯灯、街路灯、防犯カメラ設置について。

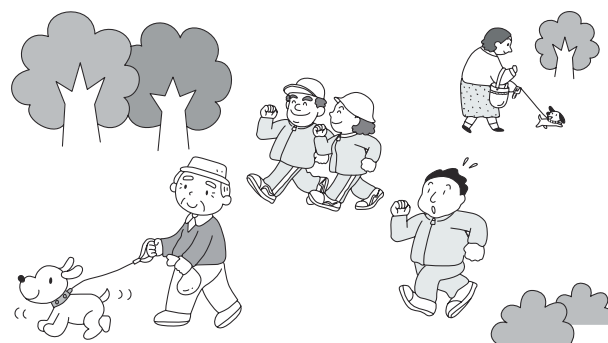
答弁

防犯における第一歩は人の目であると考え、多くの皆様方に利用いただき活気ある公園になることで、犯罪は少なくなると考えられます。

公園の計画にあたり、植樹の配置、種々の選択により道路から死角をつくらないように配慮しています。

多目的トイレについては、緊急通報装置として回転灯を設置し、照明施設については公園の隅々まで照度が確保できるように設計をしています。

防犯カメラについては状況を見ながら、警察や関係機関と連携を図り取り組んでいきます。



質問

ひとり暮らしの高齢者の方や障害のある方が事故や急病等の緊急時、また災害時の救出救護などで隣同士の助け合いは不可欠であると思います。

いざと言う時どこへ連絡して良いのかわからない現状がどこの地域でもあります。

年に一回程度、氏名・電話番号・かかりつけ医・緊急連絡先の電話番号を書き込めるカードを配

布し、信頼できる近隣の方に預かってもらえる啓発を行ってはいかがでしょうか。

答弁

市におきましては岩出市災害時要援護者支援制度を設けております。

また、緊急通報体制整備事業も実施しています。2つの制度の一層の充実を図ってまいります。

カードにつきましても市民の方が自らできる取り組みとして周知啓発に努めるよう提案してまいります。

質問

幹線道路の一つである農免道路は、年々交通量が増加しております。通勤・通学の時間帯には慢性的な交通渋滞も発生しています。

歩道設置の進捗状況について。
また、右折帯設置について。

答弁

歩道設置につきましては、歩行者等の安全確保のため、年次計画を立て事業を推進しております。

全体の約半分の区間が完了しており、本年度は農免道路と市道東山下中島線との交差点から住吉川までの区間約五六〇メートルについて、現在用地交渉を行っているところです。

右折帯設置については特に交通渋滞が著しい4ヶ所の交差点に右折帯の設置を計画して事業を進めております。



農免道路



玉田 隆紀 議員
(公明党議員団)

熱中症対策と ヒブワクチンを!



質問

ヒブ菌(インフルエンザ菌B型)

によって引き起こされる乳幼児に重い細菌性髄膜炎の予防に有効なのが世界一〇〇ヶ国以上で利用されているヒブワクチンです。

国内では任意接種が可能となり、1回当たりの費用は7,000円から8,000円で、4回の接種では、費用が約3万円と高額になる事から、ヒブワクチン一部助成制度導入の考えについて。

検討する

答弁

県議会の一般質問に対して、市町村に対する県独自の支援策の創設など、接種者の費用負担軽減のあり方について、来年度に向けて検討を進めていると、答弁されている。

市は、県の動向を見ながら平成23年度当初予算編成の中で検討していきます。

質問

各学校での熱中症予防対策や指導と熱中症患者の発生件数と状態について。

答弁

9月8日の定例校長会で熱中症等事故の防止について協議し、すべての小学校で保護者に対して、

①お茶をふだんより多く持たせてください。中に一つまみの塩を入れると効果的です。

また、運動会が終わる

まではスポーツドリンクも可とします。

②タオルを持たせてください。

③登下校時や外で遊ぶときは必ず帽子をかぶらせてください。

④体調を整えて朝食、睡眠をしっかりとりさせてください。

以上4点を通知し学校給食においても、塩分補給のために調理に工夫をするとともに、副食にも配慮をしています。

次に熱中症と疑われる発生件数ですが、9月21日までの間、中学校では1人、小学校では各校で1日平均1人で、いずれも軽症で、病院に搬送された事例はありません。

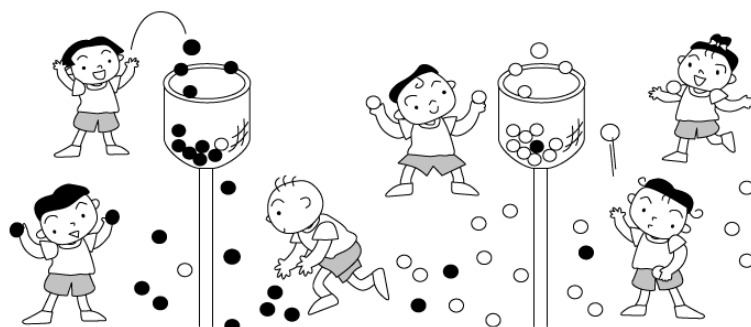
質問

運動会会場で見守る児童の待機場所にテントを設置している現状と、熱中症対策の1つとして、各学校の運動会会場に児童生徒が待機をする場所にテント設置の考えは。

答弁

現在児童席用のテントの設置、競技、待機場所にテントを設置する予定をしています。

さらに教育委員会のテント19張りを各校へ配置し、熱中症対策の取り組みを行ってまいります。



「市議会と執行部と一丸となつて」

京奈和紀北西道路の 早期完成を!



土岐 健二 議員
(民主いわで)

(質問)

①京奈和自動車道は、京都・奈良・和歌山をつなぐ和歌山県にとって重要な広域幹線道路であり、早期完成が待たれていきます。紀北西道路は計画通り進んでいるとは思えないが、工事が進んでいない理由、および現在の進捗状況は。

②紀北西道路が未完の状態では、岩出市内において大変な交通渋滞が起きることが予想される。

市ではどのような対策を講じる考えを持っているのか。

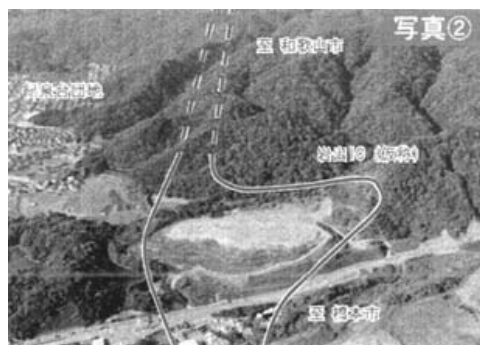
(答弁 市長)

①工事の遅延理由は用地買収が難航し、具体的には地権者との調整がつかなかった。

平成22年3月時点で用地買収率38%、事業進捗率は10%です。

②紀北西道路の早期完成には、市として和歌山県市長会等を通じ要望している。渋滞対策についても国県に要望するとともに、市道においても新設

や右折帯の設置等の交差点サイドについても考えています。



(質問)

①和歌山県1区、2区民主党の国会議員がおります。岩出市の現状や課題を訴えて、2名の代議士にお願いしたらどうでしょうか。

②案件が喫緊かつ重要課題で市民生活に大きな影響を及ぼす場合、議会として賛同できるものであれば、執行部と歩調を合わせて要望活動に取り組むべきと考えるが、市長の考えは。

(答弁 市長)

①支援策の提案については、岩出市のみならず和歌山県としても重要課題であると認識しています。ぜひともでき得る範囲で協力をお願いします。

②執行部と市議会が歩調を合わせて重要課題に取り組んでいくことは意義があることで大変ありがたいと思います。
「議員各位のご協力をお願いします。」



(質問)

▽市民の模範となる市職員の健康診断について。

この診断は職免で受診されているのか、休暇扱いで受診しているのか、受診率は。

(答弁 総務部長)

▽法律で定められていることから健康診断は勤務時間中に実施し、職務専念義務を免除しています。受診率は、かかりつけ医で受けている診断も含め95・3%となります。

(答弁 副市長)

▽職員の健康保持により職務能力の向上をはかるためにも100%を目指したいと思います。





山本 重信 議員
(民主いわで)

岩出市・入札妨害事件

更なる改革を

質問

談合防止・不正取引対策は

今回、あつてはならぬ入札妨害事件が2件続
けて発生いたしました。

業者の裁判記録での言
い分をまとめますと、現
在も慢性的に談合が行わ
れている。また、他の工
事でも予定価格を漏らし
ている話を聞いた。談合
で工事受注の順番が決ま
っている等々の証言が、
されております。

このように市役所内全
体が、談合体質や業者と
の癒着体質が出来上がり、
今回の事件に発展したの
だと考えます。

その証拠に、行事のと
きに部下に祝儀を出さな
いといけないとか、遊ぶ
お金が欲しかったから業
者にねだったとか、不正
が常日頃から、当たり前
のように行われていたの
だと想います。

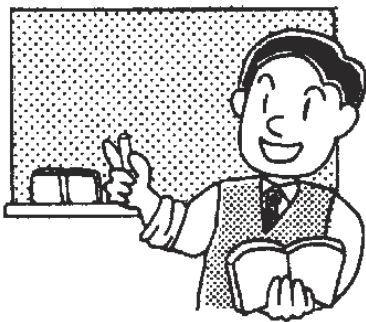
これらの癒着体質の証
拠に、市の備品を業者に
管理させているとか、資

料の委託体質とか、業者
との癒着体質が蔓延し、
今回の事件に繋がったの
ではないでしょうか。

談合調査体制不備もそ
のひとつの原因だと考え
ています。

入札業者の条件整備事
態も、不正取引組みの温
床ではないでしょうか。

最後に、今後の不正防
止取り組みについて、市
役所職員だけの不正防止
委員会メンバーではなく、
中立的立場の第三者委員
の選出を行い対応するべ
きだと考えます。



答弁

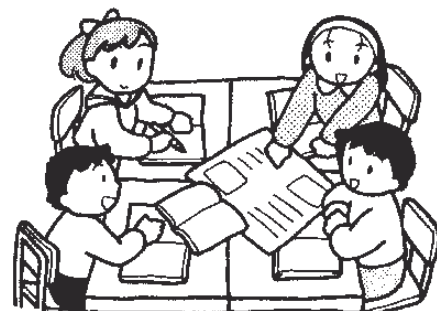
組織体制・抜本の見直し

今回の事件で組織とし
ての体質が問われている
と自覚し、報告・連絡・
相談を徹底し、相互信頼
強化を図り、再発防止に
努めます。現在の取り組
みは公私の区別をはつき
り自覚し、業者との癒着
等が起これない組織づく
りに取り組んでおります。

談合情報調査体制につ
いては、公正入札調査委
員会により、審議を行い
厳正に対処します。

入札業者の条件整備に
ついては、今後は測量設
計などその他の業務も、
事務所の写真等の添付な
どを義務付けていきたい
と考えています。

今後の入札不正防止対
策として、平成22年10月
入札実施分から、一般競
争入札の対象範囲の拡大、
現場説明会の原則廃止、
工事入札の予定価格の事
前公表、不正行為を行っ
た事業者に対しては賠償



金を求める、契約内容の
変更の見直し等々を柱と
して不正入札防止に取り
組んでまいりたいと考え
ています。

また、入札制度の見直
しは、これで完了という
ことではなく、今後も随
時見直しを行い、市民の
信頼回復のため、公平性
の確保と透明性の向上に
向けた制度の構築に努め
てまいりたいと考えてい
ます。

クーラー設置を

小・中学校の環境改善が必要

暑い教室に子どもたちは悲鳴をあげている



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)

質問

今年の夏は、異常気象と言える状況。学校では子どもたちが暑さに耐え、汗だくの中で勉強している。公立保育所はクーラーが設置されてきています。子どもたちや保護者は、クーラー設置を求めています。この声に、市長・教育委員会は答えるべきではないか。かつらぎ町では、6、7年をかけ、全ての学校にクーラーの設置を予定。教育委員会は、今後どう改善を図るのか。

答弁

教育についての基本方針などは教育委員会で協議しており、市長としての個人的な意見は差し控えさせていただきます。教育環境の整備は、年次計画に基づき進めている。クーラーだけが暑さ対策ではない。学校の環境整備は、総合的に考えなければならぬ。22年度も山崎北小学校音楽室、第二中学校配膳室にクーラー、山崎小学校、第二中学校の普通教室に、扇風機を設置してきた。

健康教室を各地域で

質問

高齢化社会を迎え、住民の健康増進と介護予防を含めた元気な岩出市のまちづくりが必要です。健康教室を各地区公民館などに広げていく取り組みも必要ではないか。指導的立場の方やリーダー育成に対する課題と認識は。

答弁

健康講座や元気アップ教室、シニアエクササイズは好評で、健康意識の高まりや若返りの効果が出ている。自主的に実施されているグループの方などにも、県事業を活用し、自主活動支援養成講座を開催し、人材育成を図っている。

採石業者倒産で危険な県道状況の 今後は。根来川の安全対策促進を。

質問

①採石業者倒産は、泉佐野岩出線境界付近は危険な状況が続くこととなるが市の見解と今後の対応は。また、名義人次第で住宅開発となる懸念はないか。

②根来川改修面は、最近河川改修工事がストップしているのではないか。今後の計画状況と、今年度の市としての浚渫(しゅんせつ)要望箇所はどこか。新たに草が生い茂ってきている場所も出てきている。

答弁

①採石事業を引き継ぐ方向で、所有者と協議が進められているが、新たな開発申請があれば、住宅開発は可能と考えます。

②今年度は、法名橋までの河道拡幅及び法名橋の掛け替えに着手すると聞いています。浚渫等については、堆積土砂等の状況を勘案し、必要な浚渫等、適切に実施すると県に聞いています。



岩出第二中学校

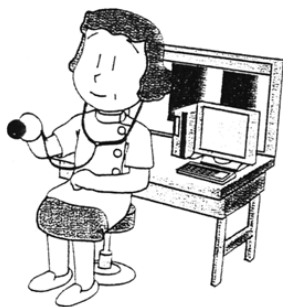


風吹トンネル手前



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)

子どもの医療費助成制度 の拡大を!!



質問

経済状況の悪化のもと、子育ての困難が広がっています。

子育てに要する経済的負担の軽減、医療費の無料化は、少子化対策・子育て支援にとっても大きな力となります。

通院についても、小学校卒業まで医療費の助成拡大を求めるが市の考えは。

答弁

財源等の問題もあり、市単独の拡大について予定はない。国・県に対して、制度創設を要望している。

福祉タクシー制度について

質問

①重度心身障害児者の行動範囲

を拡大する上で、欠かさない施策です。しかし、交付率・利用率の実績から見て、利用しやすい制度となっているのか疑問を感じる。制度の状況、実績について。

答弁

②障害者本人が介護する家族かは別として、自家用車での移動を主として利用の方が相当いるのではない。障害者のニーズの多様化に合わせ、タクシー券かガソリン代補助かを選択できるよう、新たにガソリン費補助を実施するよう求めるが市の考えは。

①重度心身障害児者の社会参加による行動範囲の拡大を図るため、福祉の増進を目的とした市の単独事業です。

②市内には、巡回バスや紀の川コミュニティバス

	実績		
	対象者	申請者	平均利用
H19年度	612人	305人	3.57回
H20年度	654人	324人	3.64回
H21年度	713人	365人	3.49回

成は考えていない。

等の運行も行っており、運賃の減免や訪問移動支援事業との併用など、交通手段を取り巻く環境は改善されつつある。今ある制度を活用し、社会参加の促進に努める。自動車燃料券の助



入札制度について

質問

①一般競争入札において、土木工事で5千万円以上・建設工事で1億円以上に引き下げるが、全ての工事を対象に行う考えはあるのか。計画は。

②入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するためには、第三者の監視を受けることが有効な方法です。

第三者機関の設置についての市の考えは。

答弁

①対象範囲を段階的に拡大するが、第一段階として年間の対象件数10件程度を想定している。

少なくとも1年程度は、今の状況を見ていきたい。②透明性を高める手段として第三者機関については、今後の課題と考えている。

わいろ 賄賂で飲食・ゴルフコンペに使う

市長・・・「予定価格の公表等入札制度の見直しをする」と答弁

『入札に権力者等が恣意的に介入できないようにすべきである』と追及



尾和 弘一 議員

質問

入札妨害・賄賂
事件は許しがた
い。市政の信頼を完全に
損なうものである。

再発防止にむけて市長の
手腕が問われている。
具体的にどうするのか。

① 上下水道工事をめぐる
事件の具体的内容はど
うか。

② これに関して管理監督
者の処分はどうしたのか。

③ 元部長の退職金返還請
求をしたのか。

④ 入札制度の改善事項は
なにか。

⑤ 公平で透明性ある制度
にするため電子入札を導
入すべきであるがどうか。

⑥ 入札監視委員会の新設
はどうか。

⑦ 内部通報制度・課徴金
はどうするのか。

答弁

① 水道工事3件
の設計金額を電
話で業者に内報し、その
見返りにそれぞれ現金10
万円を受領し、飲食・ゴ
ルフコンペ等に消費した。

② 副課長は懲戒免職、局
長と工務課長は減給10%、

1ヶ月の処分とした。
市長・副市長は3ヶ月10
%減給とした。

③ 退職金は返納命令書を送付し、分割で返還させるとともに担保物件等も押さえる。

④ 予定価格の事前公表、現場説明会の原則廃止、不正に対する制裁の強化、条件付き一般競争入札の拡大をする。

⑤ 初期投資また維持費に多額の経費がかかる。今後段階的により良いものにするため長期的に検討する。

⑥ 第三者の意見は大切であると考えて、組織の整備事務量の増大もあり、今後の課題として考える。

⑦ 信頼する上司にまず第一に報告する風土をつくる。現時点では予定はない。契約書の本則を改正し、問題等を起こした時は契約金額の20%を戴く事とした。

質問

国道24号線接続
計画の進捗はど
うか。5支交差の方針な
のかどうか。民間地収用
換地はどうなっているのか。

国道と接続でき
るよう地権者と
交渉をしている。5支交
差は20年7月国交省との
交渉で、できないと回答
を受けている。抵当権付
き用地については買収で
きないので、地権者の責
任で外していただいてか
ら買収することになる。

答弁

ほかに
① 公共施設の長寿命化基
本計画の策定
② 固定資産税・償却資産
の課税もれ等の徴収問
題
③ 子宮頸ガン予防ワクチ
ンの無料接種の実施
④ 根来地区河川の陥没対
策
等を質問しました。



国道接続地点

質問

将来を担う児童
の健康は保護者
の切なる願いである。小
学校卒業まで入院通院の
医療費を無料にしている
紀の川市をはじめ、県下
でも拡大している。来年
度から岩出市も無料にす
べきであるがどうか。

答弁

市として重要な
課題であると認
識してはいますが、財源等
の問題もあり現時点で市
単独のさらなる通院無料
化の助成拡大の予定はな
い。

各常任委員会 活動報告

総務文教常任委員会

委員長 山下久美子
副委員長 尾和 弘一
委員 三栖慎太郎
委員 福山 晴美
委員 市来 利恵
委員 宮本 要代

平成22年10月13日、
委員会視察を実施しまし
た。

太陽光発電 設備の設置

●視察先

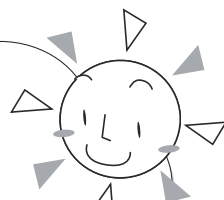
・岩出中学校
・岩出第二中学校

●国の安全・安心な学校
づくり交付金事業を活用
し、岩出市内2校の中
学校に、太陽光発電設備が
設置されました。



太陽光発電とは・・・？

太陽からのエネルギーである
太陽光を、太陽電池（ソーラーパネル）
で、電気に変える事です。



・ 工事は8月31日に完了
し、9月から運転されて
います。
・ 設備が設置されたこと
によって、電気料金の節
減が見込まれ、また、CO₂削
減にもつながることにな
ります。委員会でも今後
の実績等、調査を行なっ
てまいります。
・ 子ども達の身近な学校
に、太陽光発電が設置さ
れ、生徒が環境問題に取
り組む事ができるのを期
待します。



平成22年11月9日、
秋季全国火災予防運動
の啓発を市内2カ所で行
ないました。



決算審査 特別委員会

(平成22年9月9日選任)

《委員長》 土岐 健二
(民主いわで)

《副委員長》 玉田 隆紀
(公明党議員団)

《委員》 田中 宏幸
(ネット岩出)

《委員》 福山 晴美
(岩出クラブ)

《委員》 増田 浩二
(日本共産党議員団)

《委員》 井神 慶久
(ネット岩出)

《委員》 山本 重信
(民主いわで)

《委員》 宮本 要代
(公明党議員団)



厚生常任委員会

委員長	土岐 健二
副委員長	井神 慶久
委員	上野 耕志
委員	増田 浩二
委員	山本 重信
委員	田畑 昭二



クリーンセンター

クリーンセンターの環境対策

○9月22日、残暑厳しい中、解体現場の進捗と新クリーンセンターの稼動状況の視察を行いました。
●旧クリーンセンターの

解体撤去工事が7月から始まり、撤去に伴い粉塵が飛散しないように、施設全体を囲いで覆い、環境対策を万全に講じたうえで撤去作業を行っている。
●すでに煙突の撤去は完了しており、本体の解体に向けた準備の段階。

●新施設では平成21年度	
可燃ごみ	13,668トン
可燃性粗大ごみ	1,110トン
雑草	720トン
	処理

高齢者の所在不明問題

○百歳以上の高齢者の不明が相次いで起きている問題で急ぎよ、8月10日に委員会を開催、生活福祉部から、市の状況の報告を受ける。
●岩出市の満百歳以上の高齢者は、
8月10日現在11名。
敬老の日前後に、市長が直接訪問してお祝いしているの、百歳以上で所



[平成22年度 敬老会招待者 6,250人]

在不明の高齢者はいない。
●70歳以上の高齢者に対しては、敬老会の案内状を直接訪問し配布している。
その際に所在確認ができていたが、介護保険や後期高齢者医療の利用状況、敬老会の出席状況など市が保有している情報から、75歳以上の高齢者の所在確認を行う。

市内保育園でノロウイルス

○10月25日、委員会を急ぎよ開催、市内保育園で発生しているノロウイルスの報告を受ける。
●今現時点においては3園の発症の報告をうけている。

(症状は軽快の方向。)
●保健所の調査の結果、給食による食中毒ではなく、園内で感染が拡大したものの。
「他の園に対しても、感染予防・拡大防止を指導。」



[市内保育園でノロウイルス発生]

建設常任委員会

委員長	田村 耕一
副委員長	玉田 隆紀
委員	田中 宏幸
委員	吉本 勸曜
委員	松下 元

9月の第3回定例会において委員会に付託されました議案2件と、請願第2号について、9月15日に慎重に審査を行いました。

所管の議案は全会一致ですべて可決し、市道路線も全線認定となりました。また、請願第2号(岩出市役所土木課の土地収用に関する請願書)は、全会一致で不採択となりました。
これらの審査に先立ち、市道路線の認定のための現地視察と、水栖大池公園の視察を行いました。

水栖大池公園は、平成23年度内に供用開始を予定しており、ビオトープの機能も備えた親水公園として、多くの市民の皆様にご利用していただけるものになると考えます。現在は、東屋などが建てられ供用開始に向け、整備が着々と進められています。



「水栖大池公園」

※ビオトープ
生物生息空間。周辺に動植物の生息する環境。ギリシャ語の生物＋住空間からの造語。公園やビルの屋上などに樹木や草花を植え、鳥や昆虫が集まるようにすることも。

女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書を 国会、政府に対し提出する。

あらゆる分野における女性差別を失くすための措置を求める「女子差別撤廃条約」（以下「本条約」という。）が1979年の国連総会で採択され、わが国においては1985年に批准されました。

1999年には、この条約の実効性を高めるため、国内の裁判などの手を尽くしても人権侵害から救われなかった女性や集団が、国連女性差別撤廃委員会に申立をすることができる「個人通報制度」や調査を求めることができる「調査制度」を定めた「女性差別撤廃条約選択議定書」（以下「選択議定書」という。）が、国連で採択されました。2000年12月に発効され、現在までに世界で97カ国が批准しています。

しかし、日本では「司法権の独立を侵すおそれ」などを理由にまだ批准していません。国連女性差別撤廃委員会は、日本政府に対して「選択議定書により提供される制度は、司法の独立を強化し、女性に対する差別理解をすすめる上において、司法を補助するものであると強く確信している」と批准を勧告しています。

わが国におきましても「男女共同参画社会基本法」が制定され、21世紀の最重要課題として、性別にかかわらず人権が尊重され、男女がそれぞれの個性や能力を発揮できる社会をめざしています。その実現のためにも、男女共同参画審議会答申において、「選択議定書」の批准に積極的な姿勢を示しています。

本条約が真の実効性を持ち、男女の人権がともに保障される男女平等社会の実現を促進するためにも、選択議定書の批准が求められています。

よって、本議会は、国会及び政府に対し、選択議定書採択10年目の節目に当たる本年こそ、選択議定書を批准するよう強く求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

（提出先）内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、

内閣府特命担当大臣（少子化対策・男女共同参画担当）、衆議院議長、参議院議長

いわで ふおとぎゃらりい

～夏の終わりから秋にかけて～



- | | |
|---|---|
| ② | ① |
| ③ | |
| ④ | ⑤ |
- ① 夜空を染めた夏まつりの大花火
 - ② 岩出小学校125周年運動会
 - ③ 岩出市文化祭
 - ④ かわいい幼稚園児の運動会
 - ⑤ 彩りを添える岩出の野花

12月議会の本会議開催予定日は、次のとおりです。

12/3日(金)、8日(水)、20日(月)、21日(火)、22日(水)、24日(金)

■議会広報常任委員会

委員長	松下 元
副委員長	市来 利恵
委員	三栖慎太郎
	福山晴美
	吉本 勸曜
	宮本 要代
	土岐 健二
	山本 重信

今年の夏は猛暑が続き、秋らしい日々を感じる前に、寒い冬を迎えたような気がします。

さて、9月議会では、平成21年度決算を審議する特別委員会が設置されました。

税金がどのように使われたのか。市民にどのように役立ったのか。今後の市政に活かしていく、大切な役割をもっています。

審議の結果は、12月議会で採決をおこないます。

ぜひ、議会の傍聴にお越し下さることを議員一同お待ちしております。

議会だよりの紙面については、まだ完成形ではなく、検討途中の課題もありますが、わかりやすく魅力ある議会だよりにしていきたいと考えています。

編集後記



環境に配慮し、再生古紙を
含んだ用紙と植物性大豆油
インキを使用しています。

いわで議会だより